



近隣市町村トップクラスの里親数！愛情を持って、公共施設を市民が日常管理しています。  
市民活動日本一のまちづくりに向け、刈払機の安全な使用を市も積極的サポート！

### 公共施設里親会員を対象とした刈払機取扱講習会を開催(8/27)

1 日時	平成28年8月27日(土) 午前9時30分から午前11時まで
2 場所	名称：龍ヶ崎市歴史民俗資料館 所在地：龍ヶ崎市馴馬町2488番地 連絡先：0297-64-6227
3 内容	<p>市民活動日本一のまちづくりを目指す本市では、平成16年度から龍ヶ崎市公共施設里親制度実施要項に基づき、市と合意を交わした市民が里親となり、公園や道路などの市が管理する公共施設を里子に見立て、除草や清掃などの環境美化、維持管理の一部を実施しています。</p> <p>本講習会は市が里親へ行っている活動支援のひとつで、刈払機(草や小径木を刈払うための機械)使用時に起こりうる事故や災害の知識及び刈払機の正しい取り扱い方法を取得することにより、里親活動の安全性の向上を目的に開催します。</p> <p>【講習の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・刈払機取り扱いに係る安全衛生教育</li><li>・刈払機を用いた実技講習</li></ul>
4 参加者	公共施設里親会員 37人(予定)
5 その他	<p>【本市の里親の状況】 里親数：79団体、1,824名 里子施設数：84施設</p> <p><u>近隣市町村では団体数、施設数はトップ(施設整備課調べ)</u></p> <p>【里親制度(アダプト・プログラム)とは?】 アダプトとは英語で「～を養子にする」という意味があり、市民が公共施設をわが子のように愛情をもって面倒をみて、行政がその活動を支援する制度のことをいう。アダプト・プログラムの起源は、1985年に米国テキサス州の市民団体が参加した「アダプト・ア・ハイウェイ・プログラム」であり、その後、全米で導入されているほか、プエルトリコ、カナダ、ニュージーランド、オーストラリアなどで導入されている。日本では、1998年に徳島県神山町ではじめて導入されました。</p>
6 担当課	龍ヶ崎市 都市環境部 施設整備課 公園緑地グループ 担当者：寺田・岩本 連絡先：0297-64-1111 内線：467